

いつまでも感じられる「山」と「人」の温もり

山と人の温もりを地域住民自身が実感し、訪れた方々にも温かい気持ちになってもらえる。そんな地域を目指します。

# やまの健康宣言

滋賀県「やまの健康」モデル地域  
甲賀市大原地域 令和2年度～令和4年度

この宣言は、滋賀県「やまの健康」推進プロジェクトにおいて令和2年11月から令和2年12月にかけて開催した地域ワークショップの協議により作成されました。表紙、文中写真は大原自治振興会、甲賀市役所提供 / 大原自治振興会 TEL:0748-88-3111

表紙写真：櫛野(いちの)から望む那須ヶ原山



## 甲賀市大原地域「やまの健康」宣言

令和3年(2021年)1月発行

### 【推進体制】

- 大原自治振興会
- 甲賀市大原共有山財産区
- 甲賀木の駅運営委員会
- 甲賀愛林クラブ

## 先人たちから継承される 地域の魅力と資源

地域の方も、地域外の方も、一緒に活動してみませんか？

山での楽しみ方や活動に興味のある方を募集しています。  
大原地域の情報は、大原自治振興会のホームページでも  
発信しています。TEL:0748-88-3111までお問い合わせください。



私たちの取組はSDGsにも通じています。

- 4 質の高い教育をみんなに
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう



## 甲賀市大原地域

# 大原地域の魅力



大原地域

大原は、甲賀市の櫛野、神、大原上田、大久保、大原中、鳥居野、相模、大原市場、高野、拝坂の10自治会から構成されています。

大原は県南東部に位置し、東は鈴鹿山脈に接しています。また、京阪神の貴重な水源である琵琶湖の上流地域で、山と清流のほか、農業生産にも適した農山村地帯です。

大原のある甲賀市は、林野率が約7割を占め、そのうち人工林率が約6割と県平均を大きく上回り、甲賀ヒノキの産地でもあります。

古くから山に関わる活動は地域の生活に密接しており、他の地域に比べると、いまなお、多くの人々が山に関わる活動を行っています。

大原は自然環境に恵まれた地域でありながら、市内中心部のほか、大阪、京都、名古屋などの都市部へのアクセスも良好な場所です。



## 125年続く活動

大原小学校では、先人が育てた木を伐った場所に卒業生が植樹を行う活動が125年もの間継続され、その先人たちの魂が継承されています。



## 那須ヶ原山

鈴鹿山脈の中で800m級の山地を形成する那須ヶ原は、山頂には神社が祀られているなど仏教文化の影響が強い山域です。谷の合流点には、軽やかな音色を奏でる優美な「黒部の滝」があるなど、地形や景観に富んだ自然環境は、地域内外の方々に愛されています。



## 豊かな食農環境

山からの清流で育てた「米」や、山の恵である「ジビエ」、「キノコ類」など、豊かな食農環境が広がっています。



## 杣(そま)

「杣」は、神社仏閣などの建材となる木材を供給する森林を指します。この付近は東大寺などの巨大木造建築のために用いられる木材を供給する杣山であったことから、付近を流れる川が杣川と名付けられたと言われるなど、古くから良質な木材を供給しています。

# 地域の抱える課題

## 管理の行き届かない山

木材価格の低迷や高齢化などにより、山林の手入れを行う意欲が薄れています。よって、成長し過ぎて地域住民が安全に手入れができない木が増加したり、切り捨て放置された木なども散在し、地域的に構成比の高い針葉樹の活用も課題となっています。

## 持ち主さえわからなくなっている山

時代の変化とともに暮らしと里山の関わりが薄くなり、山に入る人が少なくなりました。山の持ち主がわからないこと、持ち主でも所有する境界がわからないことは、山の整備や活用をするうえで大きな課題となっています。

## 子どもたちの遊び場から動物の隠れ家となっている山

里山に人が入らないことで、動物たちは奥山から里山へと棲み家を移動し、農作物へも影響を与えています。また、子どもたちが気軽に里山に入り、遊んだり、学んだりすることが少なくなり、山や木を知らない子どもが増えています。



OUR VOICE OUR TRY

# 【将来像/「やまの健康」宣言】

## 「山と人の温もりがいつまでも感じられる大原地域(甲賀市)」

私たちは、こんな地域づくりを目指します。

先人が築いてきた、人と山との関わりをいま一度見つめなおすことで、山の魅力や資源を子どもからお年寄りまでが実感しています。

また、地域に訪問いただいた方々が、山を楽しむ体験を通じて、温かい気持ちになってもらえます。

## 将来像の実現に向けた取組 (アクション)

### action 1

#### 山を見直すキッカケを作る

全国植樹祭の開催を契機に、森林空間や、豊かな林産物・農産物などの地域資源を活かした「イベント」を企画・開催します。併せて地域の至るところに「木製品」を設置するなど、日常的に地域住民や訪問者が木や森に触れ、山を見直すキッカケをつくります。



### action 2

#### 山で楽しみながら繋がる

山にある施設を活用し、子どもを中心とした誰もが、山に携わる人の知恵や技術を体験・学習できる活動を行います。そこでは、山の魅力を一日中楽しみながら、地域内外の住民が山を介してつながりを持つ場とします。



### action 3

#### 循環する仕組みを作る

地域住民が切り出した木材を地域通貨に交換する仕組みを、より充実したものにします。また、福祉作業所との連携による薪生産や薪販売先の開拓などにより、地域住民が切り出した木材資源を循環させる仕組みを強固なものにします。



### action 0

#### 山の境界を明らかにする

誰の山なのかがわからなければ、整備も活用もできません。今後の活動に向け、山の持ち主の境界がわからないところを明らかにしていく活動を継続的に進めていきます。

令和4年(2022年)春に大原(鹿深夢の森)で第72回全国植樹祭が開催されます!



式典会場：甲賀市「鹿深夢の森」(滋賀県甲賀市甲賀町大久保507番地2)

全国植樹祭とは、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的行事です。この全国植樹祭では、天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎え、式典行事や記念植樹などが行われます。その第72回全国植樹祭が、大原(甲賀市)を主会場として開催されます。